地デジでもっと便利に！もっと楽しく！

日本でテレビ放送が始まって約50年。テレビ放送は、国民の娯楽として視聴されてきました。そのテレビ放送が今、大きく変わろうとしています。それが、地上デジタル放送（略称：地デジ）への移行です。

養父市ケーブルテレビでは、平成18年4月から地上デジタル放送を開始しています。

なぜ地デジ放送に変わるのか

（その1） 電波の有効利用

電波は無限に使えるように思われるかもしれませんが、通信などに使えるのは、ある一定の周波数だけです。日本では、電波が非常に過密に使われており、アナログ放送のままでは周波数が足りなくなっています。

地デジ放送に移行することで、これが解消され、予想される情報通信技術の発展に合わせてテレビの可能性がより広がることになります。

（その2） 放送サービスの高度化

①高画質で高音質

今までにない美しい映像と臨場感あふれる音声を楽しめます。

②多チャンネル放送

放送局によっては、複数の番組を同時に放送することがあります。

③データ放送

ニュースや気象情報など、暮らしに役立つ便利な情報を見たいときにいつでも見ることができます。

④双方向サービス

クイズ番組に参加したり、アンケートに答えるなど、番組に参加できます。（テレビにインターネット回線を接続する必要があります）

⑤字幕放送・解説放送の充実

高齢者、耳や目の不自由な方が、視聴しやすくなります。

（その3） 情報化の基盤に

地デジ対応テレビでは、テレビにインターネット回線を接続すれば、リモコンを操作するだけでネットに接続し、より多くの情報を得ることができます。

また、情報格差が是正され、国民全員が情報化の恩恵を受けられるようになります。